

# 調査結果の概要

結果の概要は以下のとおりです。

## 1. 給 与

### (1) きまって支給する現金給与額

- ・ 平成22年7月における月間きまって支給する現金給与額は 186,158円。
- ・ 前年比1.7%増。
- ・ 男は全国平均を上回ったが、女は全国平均を下回った。全体としては全国平均をやや上回り、全国第16位。  
( P 5 )

### (2) 特別に支払われた現金給与額

- ・ 平成21年8月1日から平成22年7月31日までの1年間における特別に支払われた現金給与額は、179,441円。
- ・ 前年比10.5%減。全国平均の減少率より大きい減少率となった。
- ・ 男は全国平均を上回ったが、女は全国平均を下回り、全体としては全国平均を下回った。  
( P 7 )

## 2. 出勤日数と実労働時間

### (1) 出勤日数

- ・ 平成22年7月における1人平均出勤日数は 20.7日で、全国平均と同水準。
- ・ 前年より0.1日減。
- ・ 産業別では、宿泊業、飲食サービス業などで全国平均を上回り、医療、福祉などで全国平均を下回った。  
( P 8 )

### (2) 実労働時間

- ・ 平成22年7月における1人平均月間実労働時間(通常日1日当たりの実労働時間7.2時間 × 出勤日数20.7日)は、149.0時間。
- ・ 前年より1.3時間増。
- ・ 全国平均を2.0時間上回った。  
( P 8 )

## 3. 雇 用

### (1) 女性労働者の割合

- ・ 常用労働者のうち女性労働者の占める割合は、59.7%。
- ・ 全国平均を2.6ポイント上回った。
- ・ 産業別では、医療、福祉(90.5%)、生活関連サービス業、娯楽業(74.0%)、宿泊業、飲食サービス業(73.2%)などが高くなっている。  
( P 10 )

### (2) 短時間労働者の割合

- ・ 短時間労働者(通常日1日の実労働時間が6時間以下の常用労働者)の割合は、29.6%。
- ・ 前年比2.5ポイント減。
- ・ 全国平均を1.2ポイント上回った。  
( P 10 )

### (3) 産業別構成比

- ・ 常用労働者の主な産業別構成比は、多いものから卸売業、小売業(28.5%)、建設業(13.2%)、生活関連サービス業、娯楽業(12.5%)、宿泊業、飲食サービス業(11.7%)、製造業(8.4%)となった。  
( P 11 )